



田植えや雑草取りの時、足をとられて歩きにくかった田んぼですが、今は、水がありません。すっかり乾燥しています。田んぼの「土用干し」といって、田んぼの水をすっかり干します。土は固く歩くのに不自由しません。イネは太く・背高に、しっかりと成長しています。

この時期に「土用干し」をするのは、田んぼの水をなしにすると、イネは水を求め根を張り、肥料を吸収しやすくなります。また、根を広く張るのでイネが倒れにくくなる効用があります。



背が高いイネは70cmを超えるほどに生育しています。

田植や雑草取り、土で汚れた手足を洗った側溝も水は流れていません。

アメンボウ、小さな魚、ザリガニたちはどこへ行ったのでしょうか。水の流れとともに、近くの「古川排水路」へ移動したと思います。



干された田んぼ。
足跡がくっきりと残されています。





東側の田んぼです。成長したイネが、風に吹かれ軟らかにそよいでいます。



花菜ガーデンから南方面の田んぼです。遠くは「高麗山～湘南平」にかけての山並みです。山の向こうは大磯、湘南の海岸、相模湾になります。

畔道の雑草を草刈り機で刈り進んでいる三人、中央はハッパ会の会長さんです。



花菜ガーデンの入り口のフラワータワーです。

担当の職員さんが手入れをしています。雑草取りです。



シソの葉とアマガエル。
追われることなく、のんびりと朝を
迎えています。

(私の菜園の一コマ)



< 付録 >



菜園の「落花生と花」です。
黄色の花をつけています。実（豆）はどこに
できるのでしょうか？

黄色い花の一部、「子房」の柄が長く伸びて、
地中にもぐり土の中で豆に成長します。

花が地中に落ちて（もぐり）豆になるので、
「落花生」の名前が付けました。

写真は、花をつけている状態で豆になって
いません。しばらくすると花に変化が見られ
ます。次回に報告します。

栽培していない雑草です
手入れの不十分さが分かっ
てしまいました



落花生：原産地は南アメリカ。「南京豆」（ナンキンマメ）とも呼ばれ、江戸時代、中国から日本に渡来しました。





早朝、田んぼの中で出会いました。

「アオサギ」 四羽います。ツルに似て首、足の長いのが特徴です。

主に小魚を食べ、カエル、昆虫も食べます。食べ物の取りやすい田んぼ、河川、池、沼などの水辺で生きています。

じっと待ち伏せしたり、歩き回ったりしながら餌をとります。長い首を素早く伸ばし、くちばしで捉えます。

成鳥は、首の部分が白く、冠羽と呼ばれる、目の上から続くように見える黒味のある羽毛が後頭部から長く伸びています。くちばしは黄色やオレンジ色に見えます。



幼鳥は、全体的に色が鈍く、冠羽は短く、上のくちばしが黒みをおびています。



田んぼの中の「アオサギ」です。大型の鳥に出会うと心がキュンとなり、自然の姿に感動します。 飛ぶ姿はとても優雅です。 白いサギを探したのですが、今朝はいませんでした。





富士山、大山ともに7月30日の早朝です。やっと、梅雨明けが関東地方にもたらされ、青く澄み渡る空は、遠方まで視界良好です。

箱根の大涌谷、ロープウェイで「黒たまご」が買えるとのニュースが伝わりました。

今朝は、以前のように噴気が観測されました。

「ぶらり散歩」のような記事になってしまいましたが、寺田縄の田んぼはいろいろな出会いがあり、見ごたえに満ちています。楽しい所です。